令和 4 年度　総合的な学習の時間　全体計画

学習指導部総合係

第 1 の目標	学校教育目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を（1）～（5）の目標を通して育成することをめざす。	「　学びあい　・　認め合い　・　高めあい　」 ○　人・自然・文化など、さまざまなふれあいを通して、健やかな心と体を育てます。　（徳・体） ○　自分の思いや考えを大切にし、生き生きと豊かに表現する力を育みます。　（知・公） ○　互いに協力し合い、学び高め合う中で、自ら課題を追究する生き方を支援します。　（知・開）

荏田南中学校　　生徒の実態・学校や地域の状況

・この地域は港北ニュータウンの一画で、文化的水準は高く教育に関する関心が高い。また、歴史的な遺跡を多く抱え、文化・芸術に精通する住民が多く、材として活用できる。

・校区内には５つの連合町内会があり、それぞれの夏祭りや地域防災訓練、地域行事に生徒・職員が参加し、クリーン活動やオアシス活動・PTA 祭では地域からの協力が得られるなど、繋がりは強い。

　学校に対しても協力的であり、毎日欠かさず挨拶運動に参加してくれるなど、良好な関係が築けている。

・生徒は全体的にたいへん落ち着いている。生活態度は真面目で生活習慣が身に付いている生徒がほとんどである。成績や受験への関心は、保護者・生徒ともに高い。また、部活動加入率は高く、熱心に活動に取り組んでいる。

荏田南中学校「総合的な学習の時間」の目標

(1)体験活動等での横断的、総合的な学習を通して、主体的・創造的・協働的な態度を育て、自己の生き方を考える資質・能力を養う。

(2)地域社会との連携を通じて、伝統や文化を尊重し継承していく力や、様々な問題を考え、積極的に社会に貢献できる資質を育む。

(3)1 年から 3 年までの学年を追った系統的指導計画の下に、キャリア教育の視点に立って社会の現状に気づくとともに、適切な職業観の育成を進め、自己をみつめる力を育む。

(4)探究課題を自ら設定し解決する学習を通して、様々な人々や自然・文化とのふれ合いを大切にし、豊かな人間性を育てる。

(5)体験的な学習を通して、自分の考えを表現し相手に伝える力を育て、様々な考えや生き方を尊重しお互いに高め合う態度を養う。

荏田南中学校　総合的な学習の時間の内容

目標を実現させるにふさわしい探究課題		探究課題の解決を通して育成をめざす具体的な資質・能力		
		知識および技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
キャリア	職業選択と社会への貢献 （1 年　職業講話）	○他者との関わりの中で自己を認め、個性を生かし、社会的役割を展望することができる ○系統的・継続的なキャリアプランニングの中で、積み重ねや変化の重要性を認識し、３年間の中で自己の役割と価値を見いだすことができる	○「自己の生き方」や「社会の中での自らの役割」について適切な課題を設定し、解決への見通しや手順を明確にできる　（課題の設定） ○地域での体験活動や講話、インタビューなどを実践する中で、適切な方法で情報を収集することができる　（情報の収集） ○課題解決に向けて、集めた情報を比較・分類など整理分析することによって自己の考えを形成できる　（整理・分析） ○自己の適性や将来に向けて論理的に議論したり、効果的かつ適切な方法で相手に伝えることができる　（まとめ・表現）	○「自己の理解」や「自己の生き方」の探究を通して自分をみつめ、将来への夢や希望をもって目標に向かって計画的に行動しようとしている （自己理解・将来展望） ○地域や社会において、様々な役割を担う人々と関わることによって、自己の特性や社会における自らの役割について考え行動しようとしている （他者理解・社会参画）
	働くことの意味や 働く人の夢や願い （2 年　職場体験）			
	実社会で働く人々と自己の将来 （3 年　地域面接官・進路）			
平和・伝統文化	地域の伝統文化と平和への願いとその継承に尽力する人々の姿や思いの理解（1.2 年　自然教室）	○地域の伝統文化・平和の意味や価値について、体験を通して理解し、身近な地域との相違点を整理分析することができる	○地域の伝統・文化と平和について課題を設定し、解決への見通しや手段を明確にする（課題の設定） ○伝統・平和の体験や調査から他地域との比較など、適切な手段で情報を収集する（情報の収集） ○課題解決に向けて、段階的に整理分析することによってこれからの方策を明確にし、自己の考えを形成することができる　（整理・分析） ○日本古来のすぐれた伝統文化の良さと歴史の過程を学び平和への思いを自分なりのやり方で、効果的かつ適切な方法で相手に伝え、未来に繋げるために発信していくことができる （まとめ・表現）	○自分が未来の担い手であること意識し、身近な地域からはじめて日本の伝統文化の価値と世界平和を希求する活動を理解し、未来へ伝えようとする活動に参画しようとしている（社会参画） ○価値ある伝統文化のよさと平和の希求への強い思いを、他者と共有し、プレゼンテーションなどで、しっかり発信しようとしている　（主体性・協働性）
	地域の伝統文化とその継承に力を注ぐ人々の知識や技術、組織の意義（2 年　一日遠足） （2 年　修学旅行事前学習）	○日本の伝統・平和への歩みに触れ、世界遺産としての価値を知ること。さらに、その継承のために取り組む人々や組織に着目し、地域の活性化に繋げる過程を理解することができる		
	日本の伝統文化と平和への歩みへの取組、またその継承に力を注ぐ人々の姿や組織、地域参画のあり方の理解 （3 年　修学旅行・特別時間割）			